

鬼北町立広見中学校

道德通信

NO. 22

令和7年10月23日発行

# よりよく生きる

## 1年生道德授業の紹介「ソウタとミオ」（読み物資料）

### 【資料のあらすじ】

主人公「僕」とミオは幼なじみで、同じ卓球部。ミオは運動が得意で、「僕」は不得意なため、いつも自分ばかりが練習でミスを繰り返していた。しかし、「僕」はめげずに努力を続ける。そんなとき、「僕」は練習でミスした動画がSNSにアップされているのを目撃する。「僕」は、友達の子が動画を撮ったと思い込み、ミオに激怒する。「僕」は、練習に出ず帰宅するが、やがて家に来たユウイチから、ミオが卓球部のみんなを集めて動画の一件を追及していたと聞く。ミオは、誰よりも頑張っている練習していた「僕」を応援していたことを知る。「僕」は、自転車に乗って、ミオの家に向かった・・・。



ミオが僕のことを応援してくれていたことを知ったとき、僕はどんな気持ちだっただろう。  
(生徒の意見)

- ・ミオを疑ったことに対して、反省している。
- ・僕をからかっていたミオを、本当は応援してくれていたことに驚きがあった。
- ・ミオの本当の気持ちを理解できず、自分のことしか考えられなかった自分が情けない。

友情を深めるために大切なことはどんなことだろう。

- ・一人一人の友達を大切に、否定せずに人の話を聞くこと。
- ・自分の悪口をSNSなどで見たら、パニックになるかもしれないけれど、落ち着いて判断することが大切だと思いました。すぐにこの人が犯人だ！！と疑わずに、親や先生に相談したほうがよいと思いました。
- ・やっぱり本当のことを知るまでは、誰かを疑ったりするのはよくないのかなと思いました。期待していたミオと、動画をアップされたソウタの気持ちを考えることができました。
- ・お互いに、尊重し合うことが大切だなと思いました。
- ・友達だからこそ言えることもあるから、嫌なことは正直に言ったり、しっかり話し合ったりすることで、仲が深まると思います。

今回の授業は、友達のことを多面的に見て相手のよさを見付け、お互いに信じ合い高め合う意識が大切であることを考えることができる授業でした。

友情は、相互の信頼と敬愛に基づくものであり、お互いに個性を尊重し、励まし合い、協力することが大切です。友達との関係では、当然、摩擦や葛藤も生まれますが、それらを克服することで、友情は更に育まれていきます。中学生も、同性、異性に関わらず、友達と信頼し合う関係を築いていくためには、相手のよさを見付け、お互いに高め合おうとする気持ちを持つことが大切なのかもしれません。